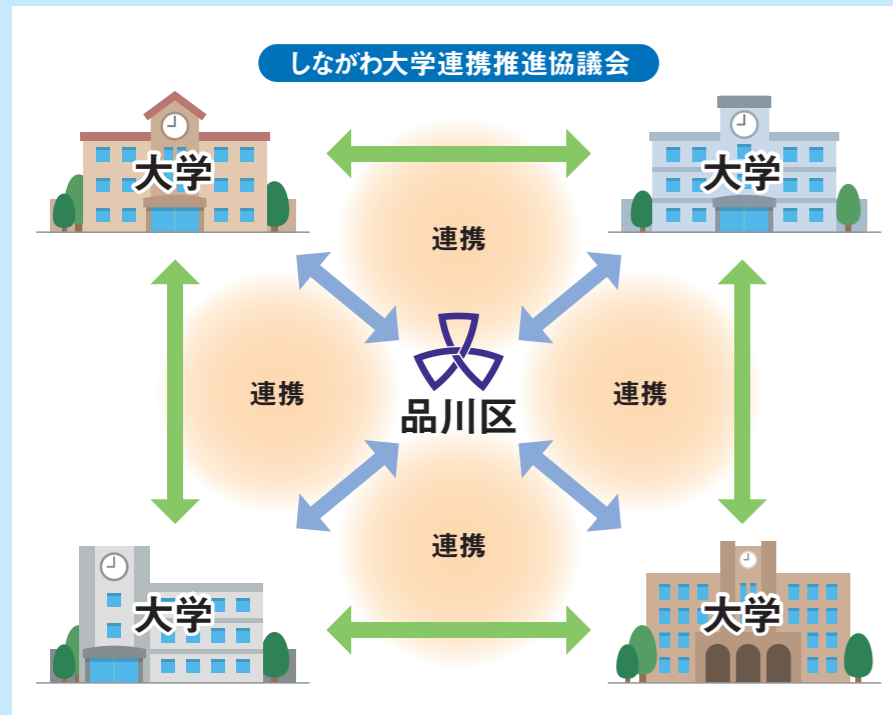


しながわ大学連携推進協議会について

1 成り立ち

かねてより、品川区と大学等の間では様々な事業協力が行われ、大学の教員・学生の教育力を具体的に地域活動やまちづくりに活かせるよう、個々に包括協定を締結してきました。区と大学とのより円滑な連携に加え、大学間の連携も推進するべく、平成29年2月に「しながわ大学連携推進協議会」を設立しました。



2 目的

品川区と大学が、包括的な連携のもと、教育・文化、健康・福祉、産業・観光、環境、まちづくり等の政策で協力し、区における地域社会の課題解決および大学の教育・研究機能の向上を図り、もって地域社会の発展に資することを目的としています。

3 会員(包括協定締結順)(平成31年3月現在)

- 星薬科大学(平成24.10.25締結)
- 立正大学(平成25.11.8締結)
- 清泉女子大学(平成27.3.18締結)
- 昭和大学(平成28.4.22締結)
- 東京医療保健大学(平成30.6.1締結)
- 産業技術大学院大学(平成30.8.23締結)
- 品川区

4 主な活動

- 総会：協議会活動報告および活動予定の確認のほか、区および大学間の情報交換・意見交換を行います。
- 幹事会：協議会運営に関する意見交換を行います。
- 学生主体の合同活動

学生主体の合同活動紹介

「しながわ大学連携推進協議会」会員大学の学生が主体となり、合同で地域貢献活動を進めています。

協議会の設立時から各大学5名程度の学生が集まり、どのような地域貢献活動を継続してできるのか検討を重ねてきました。その結果、しながわのまちや商店街の魅力を広くPRするためのレポートを作成し、情報発信をしていくこととなりました。このレポート「しながワールド」は、3ヵ月毎に年4回、区ホームページに掲載するほか、フリーペーパーとしての発行も進めており、各大学、品川区役所、品川図書館等で配布をしています。

そのほか、地域との関わりを深められるように、しながわECOフェスティバルへ出展するなど、イベントへの参加も行っています。

しながわのまちや商店街の魅力発信「しながワールド」

学生おすすめの観光スポットやお店などを紹介しています。



学生ディスカッション

年に5回程度、地域貢献活動についての話し合いを行っています。その他、区の施策について考え、提案なども行っています。



しながわECOフェスティバルへの出展

設立時から連続して参加しています。これまでは、子どもたちが楽しく遊びながらECOを学べるように工夫したクイズと水ヨーヨーを実施しました。地域の方々に大学についても知っていただけるよう、学校紹介のパネル展示も行いました。



品川区と大学との 連携推進2019



しながわ大学連携推進協議会

発行：品川区総務部総務課 編集協力：しながわ大学連携推進協議会
〒140-8715 品川区広町2-1-36 TEL.03-5742-6625 FAX.03-3774-6356
<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>



しながわ大学連携推進協議会 会員大学の紹介



星薬科大学は、創立者星一が明治44(1911)年に星製薬株式会社を設立し、社内に教育部門を設け全人教育を開始したことを起源とし、平成23(2011)年に創立100周年を迎えました。「本学は世界に奉仕する人材育成の揺籃である」を建学の精神として、臨床の現場において高度な専門性を発揮できる薬剤師の養成および薬学を基礎とし生命・健康を科学し創薬研究・開発に携わる人材の育成を目指しています。

区との連携事業または地域貢献活動

公開講座、市民向け講座

【公開講座】

品川区との共催により地域住民を対象とした4タイプの公開講座を開催しています。

- ①学内にある薬用植物園を活用し、講義と薬草見学を行う「薬草見学会」(年2回)
- ②先端科学に関する各界の第一人者を講演者に学生及び教職員も対象とする「先端科学創造シンポジウム」(年1回)
- ③小中学生も対象に、講演、クラブ学生による実験アトラクション、学内施設見学等の各種イベントを行う「区民公開講座」
- ④小中学生を対象に数日間の実験・研究を行い、研究成果を発表する「実験科学教室」

【市民向け講座】

品川区民を中心とした生涯学習、高齢者の学び直しの機会提供に努めています。



星薬科大学 〒142-8501 東京都品川区荏原2-4-41
TEL.03-3786-1011 URL.http://www.hoshi.ac.jp/site/



立正大学は8学部7研究科を擁する総合大学として、「モラリスト×エキスパートを育む」というブランドビジョンを掲げ「人間・社会・地球に関わる総合大学」を標榜しており、多様性を育む学修環境の充実と創造的な研究活動の高度化を図っています。そして学生一人ひとりが探求したい学問を見つけ、専門性を深めていく「モラリスト×エキスパート」の輩出を使命としています。

区との連携事業または地域貢献活動

品川区の公園に関するオープンデータの協働作成 一学生調査と区民の持つ技術等を利用して一

本事業は、品川区の公園情報をオープンデータ化して整備することを目的として、品川区が管理している公園の設備・遊具等の情報に、学生が乳幼児の公園利用に必要な情報(トイレ、おむつ台、水道、地面の種類等の画像、利用勝手)を实地調査して加え、公園利用者の利便性を高めるため経済学部・外木講師指導のもと学生が主体となって活動してきました。

この品川区の公園のオープンデータを利用して、2019年2月から品川区で乳幼児向けの公園紹介アプリがリリースされました。2019年度も、区民ボランティアと協働してより多くの公園をオープンデータ化していきます。この公園情報は、区のアプリアだけでなく、一般に商業利用でも利用可能です。広く利用され、地域活性化に役立つことを願っています。



立正大学 〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
TEL.03-3492-2681 URL.http://www.ris.ac.jp/



本学は、スペイン発祥の聖心侍女修道会が礎となり1950年に設立された、カトリック女子大学です。キリスト教ヒューマニズムを建学の精神として「まことの知 まことの愛」をモットーに教育を行う文学部単科大学です。島津山の落ち着いた環境のなか約2000人の学生が、日本語日本文学科、英語英文学科、スペイン語スペイン文学科、文化史学科、地球市民学科の5学科で学んでいます。

区との連携事業または地域貢献活動

学生と共に行う、教育・学習支援と地域連携

「共生社会の実現」は建学の精神につながる大切なテーマです。これまで、共に生きる社会・地域を目指して、清泉女子大学生として区内小中学校への教育・学習支援や社会貢献活動を続けてきました。

【近年の品川区との地域連携の例】

- 「社会福祉法人トット基金」の協力を得て、日本ろう者劇団による手話狂言公演を本学にて開催(2017年度)
- 本学ボランティアラーニングセンターとキャンパスキャストSeoグループの学生が、食の大切さを伝える「NPO法人みんなの食育」、障がい者の自立の援助と相互援助を行う「社会福祉法人福栄会かもめ第一工房」と協働して、東ティモール産のフェアトレードコーヒークッキー「かもめの清子ちゃん」の企画・制作・販路開拓に取り組む(2018年度)



清泉女子大学 〒141-8642 東京都品川区東五反田3-16-21
TEL.03-3447-5551 URL.https://www.seisen-u.ac.jp/



昭和大学は、創設者である上條秀介博士の「国民の健康に親身になって尽くせる臨床医家を養成する」という願いのもとに設立され2018年に90周年を迎えました。現在は、医学部・歯学部・薬学部および保健医療学部の4学部からなる医系総合大学に発展し、建学以来受け継がれてきた「至誠一貫」の精神を体現し、真心を持って国民一人ひとりの健康を守り、社会に貢献できる医療人を育成することを本学の使命としています。

区との連携事業または地域貢献活動

近隣小学校の児童に対する校外授業実施

「働くことの意義を考えよう」、「夢の実現のために努力しよう」、「命の大切さを学ぼう」ということをテーマに品川区立第二延山小学校の5年生と品川区立清水台小学校の6年生に対して校外授業を実施しております。その導入として、品川区立第二延山小学校にて医学部・歯学部・薬学部の学生による、事前講演を行っています。何を志して大学で学んでいるのか、志を達成するためには、たくさんの努力が必要であること。辛いことにも耐えられるのはどうしてかなどを、大学生の経験を通して感じていることの講演を行います。

旗の台キャンパスでは、教員指導のもと、医師・歯科医師・薬剤師・看護師の仕事体験のために、児童たちは内視鏡手術シミュレーション操作、歯の模型を削る訓練、無菌室での調剤、赤ちゃん人形での沐浴などを体験し、病院で働く人たちがどんなことをしているのかを学び、体験により生命を尊重する心情、最新の技術・学術への知的関心を深めることや、将来について考える機会を提供しています。



昭和大学 〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8
TEL.03-3784-8000(代表) URL.http://www.showa-u.ac.jp/



本学は、「いのち」「思いやり」「絆」「愛」を尊重する心を持った医療人を育成するため、2005年に誕生しました。建学の精神である「科学技術に基づく正確な医療保健の学問的教育・研究及び臨床活動」「寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を尊重する精神」に則り、医療分野において特色ある教育研究を実践します。

区との連携事業または地域貢献活動

看護大学生が企画・実施する地域健康づくり活動事業

- 本事業は、品川区の幅広い年代の方々から事業プログラムを通じて、地域の絆を強めながら健康について考えるきっかけになり、住民の健康度を高め、生き生きと過ごすことができるようになることを目的としています。また、事業を通じて身近で地域に開かれた大学を目指しています。
- 内容としては、学生が開始時にプログラムの目的を説明し、講演や体力測定、運動プログラムを実施した後、学生が設定したテーマ(日常生活に取り入れている運動、地域の便利なお店・不便なお店等)に沿って情報交換を行います。住民同士の交流を図りながら、学生は看護職を目指す今と将来、地域に何ができるかを検討します。会場は本学五反田キャンパス体育館及び、八潮地区のUR住宅集会所で行っています。



東京医療保健大学 〒141-8648 東京都品川区東五反田4-1-17
TEL.03-5421-7655 URL.http://www.thcu.ac.jp/



産業技術大学院大学は、専門的知識と体系化された技術ノウハウを活用して、新たな価値を創造し、産業の活性化に資する意欲と能力を持つ高度専門技術者の育成を目的としています。開学以来、首都東京の産業発展を担う高度専門職人材の育成を目的として事業を展開し、マネジメントの能力を備えた高度なIT技術者である「情報アーキテクト」という人材と、技術を価値として提供できる「ものづくりアーキテクト」というイノベーション人材を育成するという使命に取り組んでいます。現在、社会人のリカレント教育の一拠点として認識されるようになり、22歳から74歳までの方が高度な知識とスキルの獲得を目指して勉学に励んでいます。

区との連携事業または地域貢献活動

品川区との連携による事業者向けセミナー及び生涯学習講座等の実施

本学では、平成19年度に「品川区と産業技術大学院大学の相互協力に関する協定」を締結して以降、区内のものづくり系企業を中心とした産業振興の推進を目的に、区内事業者を対象にした新規事業開発や経営改善に関するセミナーや演習を実施してきました。また、生涯学習講座「しながわ学びの杜」において、あらゆる世代を対象に本学の特色を生かした、ICT、ものづくり、デザインに関する講演も実施しています。

平成30年8月23日には、「品川区と産業技術大学院大学との連携・協力に関する包括協定」を締結しました。これを契機に、今まで取り組んできた連携・協力を更に幅広い分野に広げ充実させながら、「しながわ大学連携推進協議会」加盟の大学間とも連携・協力して地域社会の発展に貢献できるよう取り組んでいきます。



公立大学法人 首都大学東京 産業技術大学院大学 〒140-0011 東京都品川区東大井1-10-40
TEL.03-3472-7831(代表) URL.https://aiit.ac.jp/